

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和6年4月17日（水）

### 2 確認箇所

日本海溝津波対策防潮堤設置工事現場（1～4号機東側、4号機南側）

### 3 確認項目

日本海溝津波対策防潮堤設置の状況

### 4 確認結果の概要

令和2年4月に内閣府「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」が日本海溝津波の発生が切迫していると評価したことを踏まえ、東京電力は、T.P. 11.8m規模と想定される日本海溝津波に対する備えとして、令和3年6月21日から日本海溝津波対策防潮堤の設置を進めてきた。

令和6年3月15日に日本海溝津波対策防潮堤の設置工事が完了したことから、設置状況の確認を行った。（前回確認：令和6年2月2日）（図1）  
（1～4号機東側）

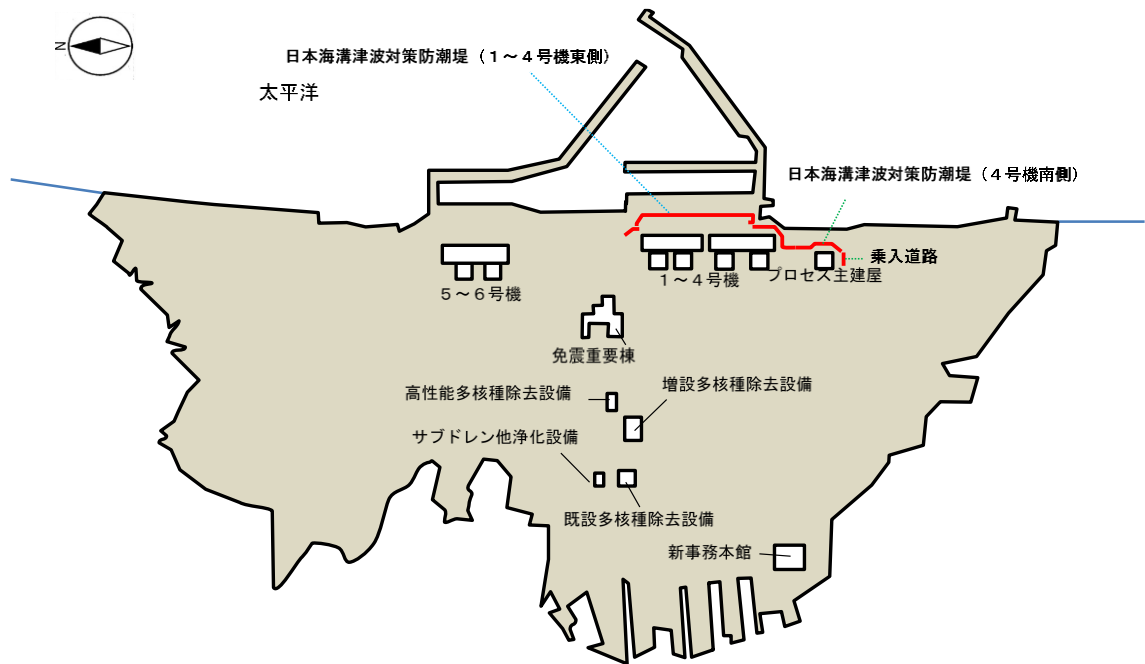
- ・防潮堤本体の設置が完了していた。防潮堤は千島海溝津波<sup>※1</sup>対策防潮堤（令和2年9月設置完了）に接する形で設置された。（写真1）
- ・T.P. 2.5m盤やT.P. 8.5mから防潮堤上部の道路へアクセスするための道路（乗入道路）の設置が完了していた。（写真2）
- ・防潮堤高さを上回る津波が襲来した際に防潮堤内側の海水を排水するフラップゲートの設置が完了していた。（写真3）

（4号機南側）

- ・防潮堤本体の設置が完了していた。防潮堤はアウターライズ津波<sup>※2</sup>対策防潮堤（平成23年6月設置完了）を補強する形で設置された。（写真4）
- ・プロセス主建屋南側から防潮堤上部の道路へアクセスするための道路（乗入道路）の設置が完了していた。（写真5）

※1 千島海溝津波：千島海溝沿いの地震に伴う津波

※2 アウターライズ津波：プレート間地震後に発生することが多いと言われているアウターライズ(海溝の外側の隆起帯)部での正断層地震による津波



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
防潮堤の状況  
(4号機タービン建屋東側)  
(令和2年2月5日撮影)

(写真1-2)  
防潮堤の状況  
(4号機タービン建屋東側)  
(今回撮影)



(写真1-3)  
防潮堤の状況  
(1号機タービン建屋東側)  
(令和3年6月25日撮影)



(写真1-4)  
防潮堤の状況  
(1号機タービン建屋東側)  
(今回撮影)



(写真2-1)  
乗入道路の状況  
(1~3号機タービン建屋東側)



(写真2-2)  
乗入道路の状況  
(1~3号機タービン建屋東側)



(写真3)  
フラップゲートの状況

※ゲートは常時閉状態（津波襲来時は閉状態）  
万が一防潮堤を越流した場合はゲートを通じて排水する



(写真4-1)  
 防潮堤の状況  
 (プロセス主建屋東側)  
 (令和4年11月10日撮影)



(写真4-2)  
 防潮堤の状況  
 (プロセス主建屋東側)  
 (今回撮影)



(写真5)  
 乗入道路の状況  
 (プロセス主建屋南側)

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
 本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。